

グローバル展開企業の 現地適応化に関する研究

Bangladeshにおける多国籍企業の戦略的成功要因の実証的分析

ライハン エムデイ | 学籍番号: 25m013

国際経営文化適応戦略分析

1

研究の背景と問題意識

グローバル化の進展に伴い、多国籍企業は文化的、経済的、法的な複雑な課題に直面しています。本研究は、この課題への適応戦略を解明することを目的とします。

2

本研究の目的

実証的分析の実施

多国籍企業の国際経営戦略について、実証的なデータに基づく詳細な分析を行い、成功要因を体系的に明らかにします。

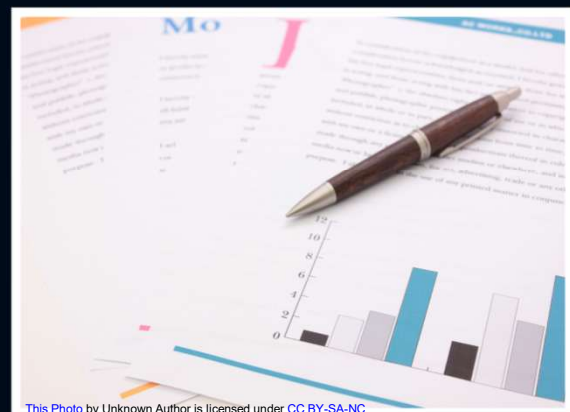
影響要因の探求

文化的差異や市場特性が企業戦略に及ぼす具体的な影響を探求し、その因果関係を統計的に解明します。

3

先行研究の課題

- 📖 **理論的基盤の蓄積:** ホフステードの文化次元理論やポーターの競争戦略論など、既存の枠組みは存在する。
- ⚠️ **実証研究の不足:** 多くの研究が理論的な議論に留まっており、実際の企業活動に基づく分析が不十分。
- 🔍 **バングラデシュの文脈:** 特定の成功要因について体系的な理解が欠如している。



This Photo by Unknown Author is licensed under [CC BY-SA-NC](https://creativecommons.org/licenses/by-sa/4.0/)

4

標準化と適応化の戦略定義

戦略軸	グローバル標準化 (Standardization)	ローカル適応化 (Adaptation)
主な目的	規模の経済、効率性の追求	現地ニーズへの適合、顧客満足
製品開発	共通プラットフォームの導入	現地の好みや規制に合わせた変更
メリット	コスト削減、ブランドの一貫性	市場浸透率の向上、障壁の克服

5

研究の意義

理論と実践の架橋

国際経営理論と実務の間に存在するギャップを埋め、理論的フレームワークを強化します。

実用的ガイドライン

経営者や政策立案者にとって具体的で実践可能な戦略指針を提供します。

学術的貢献

今後の国際経営研究の基盤となる新たな知見を新興国市場から創出します。

6

研究方法の概要

混合研究手法の採用

本研究では、質的研究と量的研究を組み合わせたアプローチを採用します。インタビューによる深い洞察と、構造分析による客観的な評価を統合します。

多角的な分析を通じて、多国籍企業が直面する複雑な課題への解決策を導き出します。



7

事例研究：Walton Group

バングラデシュ発グローバル家電メーカーの適応戦略

8

Waltonの標準化戦略

垂直統合による効率化

Waltonは製造プロセスの多くを自社内で完結させる垂直統合モデルを採用しています。これにより、共通部品の標準化と高いコスト競争力を実現しています。

- 🏭 核心部品の自社生産。
- ✔️ 厳格な品質管理基準の全社統一。



9

Waltonの適応化戦略

🏭 技術の現地化

韓国や中国にR&Dセンターを設置し、現地の電圧事情や気候に最適化した製品開発を行っています。

🏠 消費行動への適応

各国の生活スタイルに合わせ、冷蔵庫の容量や家電のデザインを柔軟に変更しています。

🏪 ローカルな流通網

現地のパートナーと提携し、きめ細かなアフターサービス網を各国で構築しています。

10

期待される研究成果



本研究を通じて、多国籍企業の成功に向けた明確なマイルストーンを提示します。

11

参考文献とお礼

主要参考文献（抜粋）

- マネーフォワード クラウド会社設立「海外へのグローバル戦略の企業事例」（2025）
- WOVN.io「ローカライゼーションの成功事例」（2024）
- ResearchGate「Self-Contained Localization Strategy: Japanese Firms」（2017）
- Harvard Business Review「For Multinational Companies, Localization Matters More Than Ever」（2026）
- Digima〜出島「日本企業の海外進出失敗事例」（2023）
- その他：J-Net21、JETRO資料など

12

ご清聴ありがとうございました

質疑応答

Raihan Md |
25m013